ポスターセッション

01 「センシング機能を“描く”PCSDによるスマートサーフェス形成」
産総研 製造基盤技術研究部門 スマート薄膜プロセスデザイン研究グループ 研究グループ長　中島 智彦

02 「Laser Powder Bed Fusionにおける TiCヘテロ凝固核を添加した Ti-6Al-4Vの溶融挙動同時その場観察」
産総研 製造基盤技術研究部門 リマニュファクチャリング研究グループ 研究員　櫛舎 祐太

03 「レーザーが拓く次世代ものづくり　―加工・造形・内部描画による機能創成―」
産総研 製造基盤技術研究部門 レーザー加工フロンティア研究グループ 研究グループ長　湯本 正樹

04 「キネティックスプレーによる低温補修技術の開発」
産総研 製造基盤技術研究部門 コーティング・界面制御研究グループ 主任研究員　名越 貴志

05 「難加工材の切削・摩擦撹拌接合ができる超高融点 Ti(C,N)-X（X:W,Mo）系サーメット」
産総研 製造基盤技術研究部門 表面機能・トライボロジー研究グループ 上級主任研究員　村上 敬

06 「3Dプリンテッドミリ波・テラヘルツ吸収体」
産総研 製造基盤技術研究部門 表面機能・トライボロジー研究グループ 主任研究員　桑野 玄気

07 「データ駆動型塑性加工の開発」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 加工プロセス制御研究チーム 研究チーム長　梶野 智史

08 「コンビナトリアル・レーザDEDで作製したハイエントロピー合金の力学特性」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 製造データ統合研究チーム 研究チーム長　原田 祥久

09 「BJT製SUS316L焼結体の拘束サイジングによる寸法補正および表面気孔形態変化の予備評価」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 製造データ統合研究チーム 研究員　Kim Minheon

10 「BJT方式の金属積層造形のための造形形状補正アルゴリズム」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 3D造形評価研究チーム 研究員　松井 聖圭

11 「繊維加工技術を活用したニットアクチュエータ」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 3D造形評価研究チーム 主任研究員　中島 明哉

12 「北陸デジタルものづくり研究会 次世代スマートテキスタイル製品化コンソーシアム」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 3D造形評価研究チーム 研究チーム長・主任研究員　中住 昭吾・中島 明哉

13 「リマニュファクチャリング推進コンソーシアム」
産総研 製造基盤技術研究部門 表面機能・トライボロジー研究グループ 研究グループ長　間野 大樹

14 「ものづくり創造コンソーシアム」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 次世代構想研究チーム 主任研究員　佐藤 直子

15 「製造AX拠点における製造データエコシステムの構築とAI活用」
産総研 研究戦略本部 企画部 ものづくり基盤加工技術検討室 企画主幹　北中 佑樹

16 「半導体製造効率の向上に資するプラズマプロセスモニタリング手法」
産総研 センシング技術研究部門 センシングマテリアル研究グループ 主任研究員　笠嶋 悠司

17 「光で造る電子レンズ：電子顕微鏡の革新に向けた基礎研究」
産総研 センシング技術研究部門 センシングデバイス研究グループ 主任研究員　上杉 祐貴

18 「超高感度ダイヤモンド電子舌センサを用いた溶液のノンターゲッティング分析」
産総研 センシング技術研究部門 IoT化学センサ研究グループ 主任研究員　大曲 新矢

19 「静電気の『見える化』を実現する先端センシング技術」
産総研 センシング技術研究部門 IoT化学センサ研究グループ 研究員　佐藤 友哉

20 「リサイクルプラスチックの使いこなし技術 ー材料組成変動を見える化するリアルタイム分析ー」
産総研 機能化学研究部門 材料インテグリティ研究グループ 主任研究員　引間 悠太

21 「3Dプリンタを活用したゴム材料の資源循環型ものづくり」
産総研 機能化学研究部門 材料インテグリティ研究グループ 主任研究員　長谷 朝博

22 「高機能素材開発を支える材料診断技術 ー界面解析からゴムリサイクル評価までー」
産総研 機能化学研究部門 有機材料診断研究グループ 研究グループ長　藤田 康彦

23 「リサイクルプラスチックの信頼性を向上させる材料診断技術」
産総研 機能化学研究部門 総括研究主幹　青柳 将

24 「テクノナレッジ講座 ～最先端技術を学び、現場で活かす～」
株式会社AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 テクノナレッジ事業グループ プロデューサ　浅沼 俊英

25 「オープンイノベーション特化型AIエージェント『Bibbidi（ビビディ）』」
株式会社AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 デジタルプラットフォーム事業構想グループ プランナ　小林 弥栄

26 「実験データ・プロセスを価値のあるデータに変える　MI・PIを加速させる次世代材料研究DXシステム」
株式会社AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 マテリアルDX事業構想グループ プロデューサ　中野 学

アクセス

広島コンベンションホール
（メインホール2A、大ホール3C）
広島県広島市東区二葉の里3丁目5番4号 広テレビル
※敷地内に駐車スペースはございません。

お問い合わせ

ご不明な点は下記の連絡先へお問合せください

国立研究開発法人産業技術総合研究所
中国センターイベント事務局
M-c-event-ml@aist.go.jp

イベントHPはこちら



産総研中国センターシンポジウム

ものづくり基盤技術の新潮流

～計測・診断・プロセス・サステナビリティの高度化～

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター
共催：産総研 エレクトロニクス・製造領域、北陸デジタルものづくりセンター、九州センター、株式会社 AIST Solutions
後援：経済産業省 中国経済産業局、（独）中小企業基盤整備機構 中国本部、（株）日本政策投資銀行、
（一社）中国経済連合会、（公財）中国地域創造研究センター、（公財）ひろしま産業振興機構

2026 [Thu] 12.10

12:50 ▸ 17:30

交流会（事前申込・会費制） 17:30 ▸ 19:00

広島コンベンションホール
（メインホール2A、大ホール3C）

本イベントは **対面開催** のみとなります

参加登録はこちらから

登録締切 **12月9日（水）18時**

先着120名：定員に達し次第締切とさせていただきます
交流会の申込みは、12 月 1 日（火）18 時まで（先着90名）

プログラム

12:50-13:20	ポスターセッション
13:30-13:35	開会挨拶 産総研 研究戦略本部 企画部 次長　澤 彰仁
13:35-13:40	来賓挨拶 中国経済産業局 局長　向野 陽一郎
13:40-13:45	シンポジウム趣旨説明 産総研 中国センター 所長　水門 潤治
13:45-16:25	講演会
16:25-17:30	ポスターセッション
17:30-19:00	交流会

産総研 AIST SOLUTIONS
産総研グループ

産総研中国センターシンポジウム

ものづくり基盤技術の新潮流

～計測・診断・プロセス・サステナビリティの高度化～

ものづくり産業を取り巻く環境が大きく変化する中、製造現場では、製品の高機能化や生産性向上に加え、サステナビリティや資源循環型ものづくりへの対応が重要になっています。本シンポジウムでは、材料の評価・診断技術、製造現場の見える化や品質管理を支える計測・センシング技術、生産性向上や高付加価値化に資する先進加工・製造プロセス技術、リマニュファクチュアリング関連技術など、ものづくりの未来につながる産総研の最新の研究成果や技術シーズを紹介します。また講演やポスターセッションでの交流を通じて、地域企業の皆様の技術開発や課題解決、新たな連携・事業創出のきっかけとなることを目指します。



プログラム

12:50 ポスターセッション（3階 大ホール3C）

13:30 開会挨拶、来賓挨拶、シンポジウム趣旨説明（2階 メインホール2A）

13:45 特別講演

ものづくりをアップグレードする溶接・接合・AM技術の開発

山本 元道　広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授

本講演では，高能率・高品質化を目指した溶接・接合技術開発や，本技術を応用した金属積層（AM）技術，及び可視化技術等を用いたモニタリング技術，溶接凝固現象観察システム，溶接技能者教育システム開発の例を紹介する。

14:25 講演①

持続可能なものづくりを支える製造基盤技術の研究開発

松本 光崇　産総研 製造基盤技術研究部門 研究部門長

製造業の競争力強化と持続可能な発展に向けて、ものづくり技術の高度化が求められています。本講演では、産総研製造基盤技術研究部門が取り組む加工基盤技術、デジタル技術、リマニュファクチャリングの研究開発と今後の展望を紹介します。

14:40 講演②

データ連携による人・ロボット・工作機械協調と柔軟な工程間連携に向けて

増井 慶次郎　産総研 研究戦略本部 次世代ものづくり実装研究センター 研究センター長

産総研次世代ものづくり実装研究センターでは、製造知識基盤の整備と、それにより強化されたAI・DX・ロボット技術を活用した次世代ものづくりテストベッドの構築を進めている。本講演では、少人数で変種変量生産を実現するCPSの実現に向けた準備状況と構成技術を紹介する。

14:55 休憩（15分）

15:10 講演③

北陸デジタルものづくりセンターの取り組み

三宅 晃司　産総研 北陸デジタルものづくりセンター 所長

北陸デジタルものづくりセンターの取り組みとして、スマートテキスタイル、金属3Dプリンタ、先進複合材料を中核とした、デジタル技術を活用したものづくりの高度化・高付加価値化に資する研究開発について紹介します。

15:25 講演④

製造AX拠点の挑戦 ～製造データとAIが切り拓く次世代ものづくり～

奈良崎 愛子　産総研 研究戦略本部 企画部 ものづくり基盤加工技術検討室 室長

産総研が推進する製造AX拠点では、製造データとAIを活用し、生産性向上、高品質化、高稼働率化を実現する研究開発と実証を進めている。本講演では、製造AX拠点の概要と、企業との共創によるデータ基盤やAI活用の取り組みを紹介し、日本のものづくり競争力強化に向けた展望を述べる。

15:40 講演⑤

製造現場と製造プロセスにおけるセンシング技術の開発と着眼点

山下 健一　産総研 センシング技術研究部門 副研究部門長

ものづくりの高機能化や生産性向上のためには、まずは製造現場の今を測ることが重要です。加工という現象そのものから、加工している機械、そしてそれを操作している人間まで、すべての段階でセンシングを行うとともに、それらのセンシングデータをマルチモーダルに理解し活用する技術を、実例を含めて紹介します。

15:55 講演⑥

リサイクルプラスチックの使いこなし技術 - 材料組成変動を見える化するリアルタイム分析 -

引間 悠太　産総研 機能化学研究部門 材料インテグリティ研究グループ 主任研究員

リサイクルプラスチックの利用拡大には、異種プラスチックの混入による材料組成変動への対応が不可欠である。本講演では、混練プロセス中で組成変動をリアルタイムで可視化するためのインライン近赤外分光計測に関する研究開発事例について紹介する。

16:10 講演⑦

AI readyなデータレイク「AlcheMia」：メタデータを資産に変えるマテリアルR&D DX

中野 学　株式会社AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 マテリアルDX事業構想グループ プロデューサ

蓄積したデータをAIやMIに活かしたいのに、集めても表記や形式がバラバラで、整えるだけで一苦労。相関は見えても原因には届かない。鍵は、メタデータやプロセスごとAIが読める形で残すことにあります。AI readyなデータレイク「AlcheMia」をご紹介します。

16:25 講演会終了

16:25 ポスターセッション（3階 大ホール3C）

17:30 閉会

17:30 交流会（3階 大ホール3C）